

事業所自己評価

実施日 令和3年 10月 8日 (16:00~17:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー (常勤職員 12名/12名参加)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	8人	4人	人	12人

前回の改善計画
サービス開始前、サービス開始後に共有すべき情報、書類などを回覧、毎日の申し送りでの伝達、記録で情報把握に努める体制を整える

前回の改善計画に対する取組み結果
サービス開始前には、ケアマネ、職員と実態調査を行い共有すべき情報を確認している。利用開始前に体験利用をしてもらう事で、職員間でも情報共有するようにしていく

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?		9	3		12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		9	3		12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	2	8	2		12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	6	3		12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
勤務時は、業務前にケース記録、業務日報、夜勤者への情報確認を行っている
毎日のミーティング (申し送り) を定着させ、一日の利用者情報の伝達、ヒヤリハット等の対策検討、利用予定の変更等を行い、夜勤者が記録に残すようにしている
連絡帳を活用し、送迎時等にご家族に介護に対しての不安等確認するようにしている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
記録物の未確認や、サイン漏れ、記録に記載漏れが有る

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
早めの出勤を心掛け、記録物の確認、前勤務者からの情報を取り、業務時間にはすぐに動ける体制を取っていきたい。記録に対しての意識の差もある為、報連相を意識するよう心掛ける。



事業所自己評価

実施日 令和3年 10月 8日 (16:00~17:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー (常勤職員 12名/12名参加)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	1人	8人	3人	人	12人

前回の改善計画
引き続き、個々のケースカンファレンスでケアプランに「～したい」の実現に向けた活動や目標を計画し、評価・記録に残し職員で内容を共有するようにする
新型コロナウイルス感染症対策を意識したプログラムをご利用者の意見を参考に検討していく

前回の改善計画に対する取組み結果
ケアプラン、小規模介護計画書に本人の「～したい」、家族の「～してほしい」を計画化し、職員間で情報共有、把握することは、共通意識として出来ている
感染症対策を行いながら、ご利用者の意見、要望などを活動に取り入れた

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	9	2		12
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2	10			12
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		8	4		12
④ 実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		9	3		12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
コロナ架の中でも、歩行訓練や個別活動 (漢字合わせ、計算、園芸等) は提案し活動することが出来た
感染症対策の為、席の配置を変え (全員前を向く)、全体での体操を午前、午後1日2回定着することが出来た
販売機に飲み物を買に行き (買い物支援) 等、自己実現の尊重に努めることが出来た

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
コロナ架の中、小規模事業所ならではの「今日は天気が良いからドライブ行こうか」や毎年定例としていた外食や、地域交流の行事等の活動が殆ど出来なかった
感染症対策から、席の配置や集団でのレク活動 (おやつ作り、カラオケ等) 利用者間の交流も難しかった

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
ご利用者の「～したい」の思いを受け止めながら、コロナ感染症対策の為、都度説明を行いながらケアを行う、意見、要望等を取り入れ継続できる支援を提供していきたい

事業所自己評価

実施日 令和3年10月8日(16:00~17:00)

3. 日常生活の支援

メンバー (常勤職員12名/12名参加)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	8人	4人	人	12人

前回の改善計画
自己評価①「以前の暮らし方」の把握について、情報共有や個人チェックの考え方に関するミーティング又は勉強会を開催し、次年度は自己評価での「出来ている」が70%以上になるよう改善することを目標とする

前回の改善計画に対する取組み結果
本人への確認では、忘れていることも多く情報が掴めないことも多い。元々同居していた家族も少なく、本人の「以前の暮らし方」が把握できていないご家族も有り、情報が少ない
今の本人への必要なケアは「自宅での過ごし方」や「最後まで在宅で」を目標に現状のADL維持が高いと考えている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		4	6	2	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	7	2		12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		7	4	1	12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	10			12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	6	3		12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
送迎時やご家族から「以前の暮らし方」「自宅での過ごし方」等を聞き取りするようにしている
答えられる利用者には本人へコミュニケーションを取りながら聞き取りするようにしている
通所時の表情等で、体調、精神状況の変化(いつもと違う)等を共有するようにしている

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
「以前の暮らし方」については、情報量が不足している
体調不良や連絡事項は、連絡帳を用意し活用しているが確認しない家族もいる

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
新規利用者とも馴染みの関係づくり、ご家族とも適切な情報交換を行いながら、本人の想いを尊重し声にならない声や体調の変化に即時的に支援できるよう努める

事業所自己評価

実施日 令和3年 10月 8日 (16:00~17:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー (常勤職員 12名/12名参加)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	6人	5人	1人	12人

前回の改善計画
 新型コロナウイルス感染症対策架の地域での暮らしの支援について、自宅での生活スタイル確認や地域資源の把握など、情報収集に努め、引き続き那覇市地域包括支援センターとの協働を持って、職員がご利用者の暮らす地域へ出向いて行けるよう努める

前回の改善計画に対する取組み結果
 コロナウイルス感染症対策で、地域資源（民生委員や社会資源）の情報の把握などは実現できなかったが、地域高齢者の情報を、地域包括支援センター泊と共有しながら、受け入れることが出来た。定期的な情報交換を行うことで、登録利用者増加に繋がった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		8	4		12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	5	5		12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		6	6		12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		3	6	3	12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 感染症対策に努めながら、地域包括支援センター泊に関わりのある利用者の情報収集を行い、受け入れる事が出来た
 送迎時や自宅訪問業務で、ご利用者の暮らす地域へ出向き、ご近所の方へも積極的に挨拶する事で、「前は どうだったよ」等と教えてもらう事が出来た
 通所が休みの場合でも、必要時自宅訪問など臨機応変に対応するよう心掛けている
 服薬管理や定期受診等、介護者との関係が切れないう通いの情報も伝え体調管理を行っている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 関りを拒む家族もいる（最低限の支援はお願いしている現状もある）
 地域での取り組みや、社会資源の活用はコロナ架の情勢で出来ていない

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 コロナウイルス感染症対策もあり、地域に積極的に出向くことは出来ない
 事業所のご利用者を感染症から守らなければならない、ウイルスを持ちこまないよう職員の体調管理、ご利用者、ご家族の体調確認を日々行っていく。

事業所自己評価	実施日	令和3年10月8日(16:00~17:00)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	(常勤職員12名/12名参加)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	7人	3人	人	12人

前回の改善計画	「訪問」「通い」「宿泊」の組み合わせによるADLや精神状況の変化などを、毎日の申し送りやミーティング内で検証し、協議し、都度提供サービス内容の見直しを心掛ける。 那覇市地域包括支援センターと協働して、地域資源についての研修会を開催する。
前回の改善計画に対する取組み結果	検温、健康観察を行い、本人やご家族の状況等も確認しながらサービス内容の見直し、変更等をその都度行うようにした。休みの日でも、気になるご利用者の自宅へ訪問するよう心掛けたり、ご家族への連絡等臨機応変に対応するように努めた

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	2	6	2	12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3	8	1		12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	2	7	3		12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	8	1		12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ADLの変化や精神状況の変化、ご家族の要望等での提供サービスの変更は、毎日の申し送り内で検証、協議しサービス内容の見直し、変更をその都度柔軟に対応している。 本人の体調確認等、突発的な訪問業務も行うようにしている。 法人内事業所も地域ととらえ、医療ディや地域包括支援センター泊、法人内事業所とも情報交換している小規模居宅介護計画書で、モニタリング、評価を行っている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
コロナウイルス感染症対策の為、地域資源についての研修会は開催出来ていない。 法人医療ディとの併用利用が休止している。ご利用者自身が、地域資源の活用事例が無い	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
ご家族の希望も多い為、法人医療ディとの併用利用が再開できるよう、感染対策に努める。 ADL等の残存機能が維持出来るよう、歩行訓練、毎日の体操を継続し体調確認を行いながら「休まない」を目標とする。	

事業所自己評価

実施日 令和3年10月8日(16:00~17:00)

6. 連携・協働

メンバー (常勤職員12名/12名参加)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	3人	5人	4人	12人

前回の改善計画
新型コロナウイルス感染症対策策でも出来る地域交流を模索し、新たな連携・協働を考え実施していく 感染症対策を標準化し「地域交流室」の開放を通じて、地域連携・協働を考えていく 那覇市地域包括支援センターと連携し、引き続き「地域ケア会議」等を通じて、民生委員や自治会との関係構築に努める
前回の改善計画に対する取組み結果
感染症対策の為、地域交流、「地域交流室」の貸し出しも停止し、地域の方が事業所を訪ねる事は出来なかったが、園芸活動で収穫した果物を地域の方へ提供したり、建物外観の環境整備を行うことで声をかけていただくことが出来た。地域包括支援センター泊とは、情報を共有することで、地域高齢者の利用に繋げる事が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?		6	2	4	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		3	4	5	12
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?		1	4	7	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?		3	3	6	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	医療機関・訪問看護・福祉用具との会議は感染症対策の為電話連絡を行っている 地域包括支援センター泊とは、会議は開催していないが情報交換やご利用者紹介もあり共有できている。 地域へ発信しての行事(七夕会等)は、地域への案内はせず、ご利用者のみ(食事会)として開催できた

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	感染症対策で会議や、地域活動、地域へ発信するイベントは開催できず事業所内で開催した 事業所内への立ち入り制限、面会に制限などもあり「地域交流室」の貸し出しも停止していた

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	感染症対策に努めながら、地域包括支援センターや法人内事業所と地域高齢者の情報共有を行っていく ご利用者と一緒出来る活動の充実(園芸活動や、ピロティを活用したおやつ会等)

事業所自己評価

実施日 令和3年 10月 8日 (16:00~17:00)

7. 運営

メンバー (常勤職員 12名/12名参加)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	5人	5人	2人	12人

前回の改善計画
「運営方針」に関して、年度初めに職員全体会議を開催し共有する。
「運営状況」に応じて、毎月のミーティングで説明し、職員の意見を確認する。
地域に必要とされる拠点となるため「地域交流室」等を活用した地域との協働を努める。

前回の改善計画に対する取組み結果
コロナ架の中で、集合会議は行えず「運営方針」に関して全体会議は資料配布、情報伝達すると共に、ワークシートを提出。集合してのミーティングは開催出来ていないが、毎日の申し送りで伝達、情報の共有を行っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	3	6	3		12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?		7	4	1	12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	4	6		12
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	2	2	5	3	12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
事業所の園芸活動として、果物を育てご利用者と一緒に地域の方へ配り喜ばれた。バルコニーやピロティの環境整備をすることで、地域の方から「次は何を植えるのですか?楽しみにしている」等の声を聞くことが出来た。事業所が地域の方へ介護事業所として認識されることで、地域の方が「迷子の高齢者」を連れてくることになった。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
消防訓練開催時、地域の方へ計画、参加の案内を行っていたが、コロナ架でもあり訓練自体も緊急事態宣言終了後に計画した。感染症対策の為、毎月のミーティングは開催出来ていない。「地域交流室」の貸し出しも停止した。「運営」に関する職員意識の統一が出来ていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
コロナ感染症対策を行いながら、定期的なミーティングの開催。ご利用者情報や、地域を意識した活動内容の検討
「運営状況」に関する情報を共有する。

事業所自己評価

実施日 令和3年 10月 8日 (16:00~17:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー (常勤職員 12名/12名参加)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	5人	6人	人	12人

前回の改善計画

新型コロナウイルス感染症対策策においても実施できる、ビデオ配信研修の実施や啓蒙、ワークシート方式の研修の開催を通じて、質を向上させるための取組みを行っていく。
感染症対策を行い、少人数単位でのオンジョブトレーニングを年間計画に取り入れていく

前回の改善計画に対する取組み結果

コロナ感染症対策策の中で、ZOOMでの研修の参加や情報発信などを行った。集合研修などは、開催が無くワークシートでの研修に参加した。質の向上する為の取組みとして「満足度調査」を聞き取りで調査。ご家族の意見、要望も聞き取りすることが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	1	3	5	2	12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	5	3	3	12
③	地域連絡会に参加していますか	1	2	3	6	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	8	3		12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

年度初めの運営方針は、コロナ架の為資料、ワークシート(年間目標)、身体拘束適正化や、感染症対策などはワークシートにて研修している。
ZOOM研修などは、配信を閲覧できるよう情報発信している。
資格更新研修は、ZOOMで参加している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

地域連絡会や、集合しての研修はコロナ架でもあり、参加出来ないし会議研修自体が開催されていない

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

資格取得やスキルアップの為の研修に参加できるよう勤務調整や、ZOOM研修などの情報発信を行う。
法人内連携し、新規登録者の案内、医療ディとの併用利用を行うことで、ご利用者、ご家族の満足度アップに繋げていきたい

事業所自己評価

実施日 令和3年 10月 8日 (16:00~17:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー (常勤職員 12名/12名参加)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?	1人	7人	4人	人	12人

前回の改善計画

「成年後見人制度」に関して、那覇市地域包括支援センター社会福祉士と連携を取り、研修を実施する。
「身体拘束適正化」については、都度法令を遵守し「身体拘束適正化等に関する指針」の見直しや年間2回以上の研修会を実施する。
「プライバシーの保護」「個人情報の保護」についても同様に法令遵守していく。

前回の改善計画に対する取組み結果

運営会議にて「身体拘束適正化等に関する指針」の見直し、ワークシート研修を実施し理解を深めていく。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 身体拘束をしていない	8	4			12
② 虐待は行われていない	9	2	1		12
③ プライバシーが守られている	7	5			12
④ 必要な方に成年後見制度を活用している	1	1	4	6	12
⑤ 適正な個人情報の管理ができています	5	7			12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

「身体拘束」は行っていない。個人情報のカルテや内服薬は鍵の閉まる棚に保管しプライバシーを厳守している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

「成年後見人制度」に対しては、話はあったが家族からの動きはなく支援には至っていない

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

「成年後見人制度」を活用するケースが今迄無く、職員の理解や意識にも差がある。今後は、独居利用者やキーパーソンが高齢者等の例も有ることから、「成年後見人制度」が必要になってくる。コロナ感染症終息後は、包括支援センター社会福祉士と連携を取り、研修会を開催し、理解を深めていきたい。

6.

